

平成 30年10月作成

# 認知症地域支援・ケア向上事業に関する市町村の取組

宮城県 角田市

## 基礎データ

## 角田市調べ

- **総人口：29,643人**（H30.3月末現在）
- **高齢者人口：9,926人**（H30.3月末現在）
- **高齢化率：33.49%**（H30.3月末現在）
- **要介護認定者数：1,784人**（H30.3月末現在）
- **年齢別人口から推計した認知症高齢者数：970人**（H30.3月末現在）
- **日常生活圏域数：1 圏域**
- **地域包括支援センター数：1 ヶ所（直営）（職員数：15名）**
- **第7期介護保険料：5,600円**（厚生労働省ホームページより）

## 【認知症地域支援・ケア向上事業】

### ◎認知症地域支援推進員

#### 1 設置の状況

- ・人員： 5名（専任1名、兼任4名）
- ・職種： 介護福祉士1名(専任)、保健師2名(兼任)、社会福祉士2名(兼任)
- ・配置場所： 角田市地域包括支援センター

#### 2 取組の状況

- 認知症の人を支援する関係者の連携を図る取組
  - ・高齢者見守りネットワーク推進に関する会議の開催。
- 認知症とその家族を支援する相談支援や支援体制構築の取組
  - ・総合相談事業等での相談及び処遇困難者のケア会議の実施や、高齢者見守りネットワーク推進に関する会議を活用した支援体制構築についての検討。

包括的支援事業(社会保障充実分)

項目		人数	主な相談内容	主な対応方法
実人数		32	・認知症について ・家族介護について ・在宅福祉サービスについて ・介護保険申請について	・家族介護支援 ・おしゃべりカフェの情報提供 ・福祉サービスの情報提供 ・介護保険サービス情報提供 ・医療機関に関する情報提供
延べ人数		137		
内訳	来所	61		
	訪問	41		
	電話	34		
文書・メール		1		

【認知症地域支援・ケア向上事業】

○認知症対応力向上の推進

- ・権利擁護講演会とタイアップして、住民、民生委員、区長、金融機関を対象とした認知症対応に関する講演会の開催

○在宅生活継続のための相談支援

- ・総合相談の対応、認知症初期集中支援チーム員会議へつなぐ

○家族に対する支援事業

- ・認知症家族の会「なごみの会」への支援(毎月定例開催)

○多職種共同研修

- ・在宅医療・介護連携推進事業の中で、介護サービス事業所を対象に認知症の理解と対応に関する研修会の開催。

3 推進員を配置したことによる効果

- ・認知症の方に対する相談や家族の支援の充実が図られている。
- ・認知症キャラバンメイトとの連携により、認知症サポーター養成講座の充実が図られている。

## 【認知症地域支援・ケア向上事業】

### 4 事業を実施する上での課題

- ・初期集中支援チーム員会議の体制強化： 初回相談からチームにつなぐ流れと様式の検討。
- ・認知症サポーターの活用とキャラバンメイトが主体的に活動できるような体制づくり。

### 5 事業を実施する上でのポイントは「安心して暮らすことができる」

- ①地域の中での日常的な見守りができる： 住民への知識の普及（研修会、養成講座）、や認知症高齢者等見守りQRコード活用事業の利用者拡大。
- ②認知症を正しく理解している住民が増える： 認知症の症状、声掛けなど対応の仕方が分かる
- ③早い段階での認知症に気づき、適切な治療が受けられる： 早期に相談先につなげられる窓口の紹介（地域包括支援センター、医療機関等の周知）。初期集中支援チームの活用。

### 6 今後の展望

- ・住民が認知症かなと早めに気づき対応できるための知識の普及。
- ・事業所と連携した認知症カフェなどの居場所づくり。

【認知症地域支援・ケア向上事業】

7 その他の取り組み

(1) 認知症サポーター養成講座

・小中学校の校長会及び教頭会で声を掛け、小・中学校で講座を実施することによって、子供の頃から認知症の見守り体制のきっかけをつくっている。

・また、事業所の認知症キャラバンメイトの計画により、事業所での講座を開催。

・認知症サポーターは平成29年度末で延3,664人。

・権利擁護講演会を認知症サポーターのステップアップ講座として位置付け、希望者が受講。



認知症サポーター養成講座の実施状況

(単位：人)

開催月日	場所	対象者	参加者数
平成29年7月7日	金津中学校	金津中学校1年生、先生	41
9月7日	北郷小学校	北郷小学校4・6年生、先生	60
10月14日	市民センター	一般市民(ツクイ角田北郷主催)	14
11月2日	桜小学校	桜小学校3年生、先生	39
11月10日	北角田中学校	北角田中学校1年生、先生	81
11月24日	角田中学校	角田中学校2年生、先生	126
平成30年1月15日	西根小学校	西根小学校5年生、先生	22
1月30日	ウエルパーク	一般市民、シルバー会員、郵便局員、民生委員、市職員、市議会議員	92
2月21日	東根小学校	東根小学校6年生、先生、保護者	11
合計			486

認知症キャラバンメイト養成研修会

受講月日	会場	受講者数	主な内容
平成29年8月25日	仙台市	2(事業者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の理解</li> <li>養成講座の運営方法について</li> <li>地域で支えるためのグループワーク</li> </ul>

【認知症地域支援・ケア向上事業】

(2)認知症カフェの設置状況 1か所

おしゃべりカフェ開催状況

(単位：回・人)

開催日	開催場所	開催回数	参加人数		
			内訳	実人数	延人数
毎週月曜日 (祝日は休み) 13時15分～15時	ウエルパーク	46	本人	19	211
			家族	9	87
			サポーター	6	128
			合計	34	426

(3)認知症ケアパス

- 平成28年度、認知症ケア担当者会議のメンバーと高齢者見守りネットワーク推進に関する会議の構成員を中心に、認知症ガイドブックを作成し、平成29年5月に関係機関や会議構成員に配布するとともに市内の全戸に配布し、普及を図った。

(4)その他：認知症情報誌「みんな笑顔」

- 認知症情報誌作成部会のメンバーで、認知症情報誌「みんな笑顔」を発行し、認知症に関しての普及啓発を実施した。







対象者： 市内に住所を有し、在宅生活している方で、おおむね65歳以上の認知症状等を有する方  
利用者負担： 1,080円(年間登録費用)

## 【認知症の人の見守り体制】

### 1 現在実施している事業内容

- ・認知症高齢者等見守りQRコード活用事業（県内では初めて実施）

### 2 事業として実施するまでの経緯

- ①SOSネットワーク事業のみであり、見守り体制の強化が必要と感じていた。
- ②QRコード活用事業を知り、角田警察署と連携し取り組みを検討。
- ③区長会・民生委員会、広報等において住民への周知を行う。

### 3 事業を実施したことによる効果

- ・受信センターから連絡のあったケースはまだないが、利用者の安心感につながっている。

### 4 事業を実施する上での課題

- ・新規申請者が少ないと感じる。周知の拡大が必要。

### 5 事業を遂行する上でのポイント

- ・総合相談の場面等で認知症の方の相談を受けた際に、必要な方に確実に情報提供し、利用を拡大していく。

### 6 今後の展望

- ・市外への徘徊も考えられることから、同様の取り組みを始めている仙南の他市町と協力し、広域でQRコード事業を実施することにより、さらなる効果が期待できる。